

| | | | | | |
|--|---|--|----|---|------|
| 科目名 | | 建築法規Ⅰ | | | |
| 担当教員 | | 三留 正 | | 実務授業の有無 | 有 |
| 対象学科 | インテリアデザイン科 | 対象学年 | 1 | 開講時期 | 後期 |
| 必修・選択 | 必修 | 授業形式 | 講義 | 時間数 | 32時間 |
| 授業概要、目的、授業の進め方 | | ・テキストを中心に建築基準法及び関係法令を学ぶ。 法の分類や構成、形式及び条文の内容（条件・基準・計算方法など）について学習する。 1. 座学→確認テスト→添削と解説を繰り返し行い知識の習得を図る。 2. 法令集を活用し各自で法令の検索方法を理解し、内容を的確に読み取れる様に学習する。 | | | |
| 学習目標（到達目標） | | ・人々の生命・健康などを守るため建築物の最低基準である建築基準法・建築基準法施行令を中心にした基本知識の習得。 | | | |
| テキスト・教材・参考図書・その他資料 | | ①やさしい建築法規・著者：今村仁美・田中美都 発行所：（株）学芸出版社 ②建築関係法令集 発行：（株）総合資格学院 | | | |
| NO. | 授業項目、内容 | | | 学習方法・準備学習・備考 | |
| 1 | 構造に関する基準 ①居室の天井の高さ、床の高さ ②地階の住宅等の居室、長屋・共同住宅の各戸の界壁 ③階段、階段に代わる傾斜路 | | | 方法：教科書に沿って法令の説明と解説。 法令集を使用し法令集の引き方と内容の確認。 準備学習：教科書の内容、法令集の引き方の予習と練習 | |
| 2 | 都市計画、道路に関する規定 ①都市計画制度の概要 ②道路の種類、基準等 | | | 方法：教科書に沿って法令の説明と解説。 法令集を使用し法令集の引き方と内容の確認。 準備学習：教科書の内容、法令集の引き方の予習と練習 | |
| 3 | 用途地域に関する規定 ①用途地域の目的、建築物の制限 | | | 方法：教科書に沿って法令の説明と解説。 法令集を使用し法令集の引き方と内容の確認。 準備学習：教科書の内容、法令集の引き方の予習と練習 | |
| 4 | 面積の制限 ①容積率の規制・緩和 ②建蔽率の限度 | | | 方法：教科書に沿って法令の説明と解説。 法令集を使用し法令集の引き方と内容の確認。 準備学習：教科書の内容、法令集の引き方の予習と練習 | |
| 5 | 高さの制限 ①道路、隣地境界線に対する高さ ②用途地域による高さ制限 | | | 方法：教科書に沿って法令の説明と解説。 法令集を使用し法令集の引き方と内容の確認。 準備学習：教科書の内容、法令集の引き方の予習と練習 | |
| 6 | 設備に関する基準 ①建築設備の概要 | | | 方法：教科書に沿って法令の説明と解説。 法令集を使用し法令集の引き方と内容の確認。 準備学習：教科書の内容、法令集の引き方の予習と練習 | |
| 7 | 防火に関する基準 ①防火、火災に関する構造・設備の概要 ②延焼のおそれのある部分 | | | 方法：教科書に沿って法令の説明と解説。 法令集を使用し法令集の引き方と内容の確認。 準備学習：教科書の内容、法令集の引き方の予習と練習 | |
| 8 | | | | | |
| 9 | | | | | |
| 10 | | | | | |
| 評価方法・成績評価基準 | | | | 履修上の注意 | |
| 確認テスト | 取組姿勢 | | | 建築法規は建築全てにおいて関係しています。「法」を知る事で他の授業もわかり易くなると思います。法令集と仲を深めながら、楽しく学んでいきましょう。 | |
| 80 % | 20 % | % | % | | |
| 成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 | | | | | |
| 実務経験教員の経歴 | | 設計業務、施工管理業務に22年実務に携わる | | | |